

事務事業マネジメントシート
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	介護給付適正化事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	T476				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	介護福祉課	課長名	浅利澄子				
			所属担当	介護保険担当	担当者名	中込裕也				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	04	介護	04	02	02	008	01
施策	29	高齢者福祉の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠	介護保険法第						
事務事業の概要	介護保険利用者に適切なサービスを提供できるよう環境を整えとともに、介護給付費の適正化を図るため、介護保険事業所への実地指導を実施。また、サービス利用者へ、1年間の給付費通知を発送している。		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			講師謝金	0						
			印本製本費	0						
			通信運搬費	126						
					計	126				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	介護保険事業所への実地指導 給付費通知の発送	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	26年度活動予定	同上		ア	実地指導事業所数	箇所
				イ	給付費通知発送件数	通
				ウ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	介護保険給付費並びに介護保険料		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア	介護給付費	円
				イ	介護保険料	円
				ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	持続可能な介護保険制度の確立		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア		
				イ		
				ウ		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	介護保険制度の信頼感を高め、介護保険給付費や介護保険料の抑制につなげる		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
				ア		
				イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		57	126	336	336	336	
		一般財源	千円							
		事業費計(A)	千円	0	57	126	336	336	336	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	30	30	30	35	35	35	
		人件費計(B)	千円	0	137	137	159	159	159	0
		(A)+(B)	千円	0	194	263	495	495	495	0
	活動指標	ア	箇所	0.0	5.0	10.0	12.0	12.0	12.0	
		イ	通	2,655.0	2,756.0	2,800.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	
		ウ								
	対象指標	ア	円							
		イ	円	52,500.0	61,152.0	61,152.0	61,152.0	61,152.0	61,152.0	
		ウ								
	成果指標	ア								
		イ								
		ウ								
	上位成果指標	ア								
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	介護保険給付費の高騰を受け、ケアプランの指導や市が指定監督する地域密着型サービスへの実地指導を行い適切な介護サービス利用と給付につなげるために実施
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	介護保険サービスは、非常に複雑であり、ケアプランの管理等は事業所任せになっている。また、利用者も本当に必要なサービス提供を受けることが望ましいため、介護保険給付の適正化事業は必要不可欠であり、充実して
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	介護保険の適正化の実施については、国、県、保険者(市)と連携して実施する事により、介護保険制度の信頼向上に努めている

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	介護サービスの利用内容通知を送付し被保険者にも内容確認をもらうことにより給付の適正化を行う。また、国保連合会に医療情報との突合・縦覧点検を委託している。住宅改修においては、申請書類の確認を行い、見積書、写真等により点検を実施している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	職員が事業者を訪問し、事業内容の聞き取り、確認を行い適正化を図った。

事務事業名	介護給付適正化事業	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 介護給付費の適正化は、介護保険制度の信頼感を高め、給付費や介護保険料の抑制することを通じ持続可能な介護保険制度の構築に資することを目的としている
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 持続可能な介護保険制度の確立を目指すため妥当である。介護保険サービスの給付費等のチェック機能として国、県においても実施していく事業である 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 介護保険制度の適切な維持の為に必要不可欠
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 複雑になっている介護給付の内容をより理解している有識者に業務委託することにより精度の高い事業を行うことが出来る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 事業所全体会や、地域ケア会議、ケアマネ部会など関係機関との連携を密にし、良い事例等を共有することで適切なサービスにつなげる <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 適切な介護給付等のチェック機能が失われるため <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 適切な介護給付等のチェック機能が失われるため
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 経常経費しかない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 持続可能な介護保険制度の確立を目指すために実施する事業で、今後重要となる事務事業である。介護保険サービスの給付費等のチェック機能としてさらに拡大していく必要がある
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 持続可能な介護保険制度の確立を目指すため妥当である。介護保険サービスの給付費等のチェック機能として国、県においても実施していく事業である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後さらに適正化を計ることにより介護給付費の適正運用に努めていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について プランチェックにおける有識者への業務委託を行う。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 スキルを持つ有識者の選定が必要となる。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					